

## 選考結果総括表

府省庁名 経済産業省

役職		現任者				就任者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(独)情報処理 推進機構	理事 (総括担当)	斉藤 茂樹	58	H20.4.1	(財)国際超電導産業 技術研究センター専務 理事  [OB] 最終官職 特許庁審査業務部 長	田中 久也	56	(独)情報処理推進機 構 IT 人材育成本部 長(富士通(株)から出 向)	応募総数 39 名 ↓ 書類選考 ↓(7名) 面接 ↓(3名) 任命権者が選任 ↓ 所管大臣に協議 (※1)

※1 1名に絞り込む前の候補者の情報と併せて大臣に協議。

※2 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載。

## 選考結果総括表

府省庁名 経済産業省

役職	現(前)任者				就任者			選考経過
	氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(独)石油天然 ガス・金属鉱 物資源機構	理事 (総務、経 理、評価、監 査担当)	広田 博士	58	H18.7.31	経済産業省大臣官 房技術総括審議官  [OB]	再 任		応募総数 8名 ↓ 書類選考 ↓(5名) 面接 ↓(1名) 任命権者が選任 ↓ 所管大臣に協議 (※1)
	理事 (資源備蓄 関連担当)	本城 薫	56	H20.3.1	(独)石油天然ガス・ 金属鉱物資源機構 資源備蓄本部特命 参与  [OB] ※最終官職 経済産業省大臣 官房付	新井 仁	62	東京ガスエンジ アリング(株)取締 役専務執行役員 営業本部長兼エ ンジニアリング本 部長

<p>理事 (金属開発 資金支援・ 鉱害防止支 援担当)</p>	<p>鹿戸 丈夫</p>	<p>57</p>	<p>H21.2.1</p>	<p>米州開発銀行アジ ア事務所長(派遣)</p> <p>[OB] ※最終官職 財務省大臣官房 付</p>	<p>上田 衛門</p>	<p>51</p>	<p>財務省関東財務 局金融安定監理 官 【役員出向】</p>	<p>応募総数 4名 ↓ 書類選考 ↓(3名) 面接 ↓(1名) 任命権者が選任 ↓ 所管大臣に協議(※1) ↓ 適任者なし</p> <p>推薦方式に移行 任命権者が提示 ↓(1名) 推薦委員会 ↓(1名) 任命権者が選任 ↓ 所管大臣に協議</p>
<p>監事</p>	<p>廿日岩 信次</p>	<p>56</p>	<p>H21.8.1</p>	<p>国税庁関東信越国 税不服審判所長</p> <p>[OB]</p>	<p>谷本 忠和</p>	<p>54</p>	<p>ニッセイアセットマ ネジメント(株)取 締役 チーフ・イン ベストメント・オフィ サー</p>	<p>応募総数 20名 ↓ 書類選考 ↓(4名) 面接 ↓(1名) 任命権者が選任</p>

※1 1名に絞り込む前の候補者の情報と併せて大臣に協議。

※2 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載。

## 独立行政法人情報処理推進機構役員名簿新旧対照表

現 任 者							就 任 者			任命権者	発令日
役 職	氏 名	年 齢	当初就任 年月日	任 期	任期満了 年月日	前 歴	氏 名	年 齢	前 歴		
理事長	西垣 浩司	71	H20.4.1	4	H24.1.4	日本電気株式会社 特別顧問					
公 募 理 事	斉藤 茂樹	58	H20.4.1	2	H22.3.31	特許庁審査業務部長 (財)国際超電導産業技術 研究センター専務理事	田中 久也	56	(独)情報処理推進機 構IT人材育成本部長 (富士通(株)から出 向)	理事長	H22.4.1
理 事	仲田 雄作	53	H20.7.25	2	H24.1.4	経済産業省 経済産業政策局 調査統計部長					
監 事	下村 健一	59	H22.1.5	2	H24.1.4	オムロンレーザーフロン ト株式会社執行役員					
監 事 (非常勤)	櫻井 通晴	73	H16.1.5	2	H24.1.4	城西国際大学経営情 報学部客員教授					

## (独) 情報処理推進機構 (IPA)

### 理事 (総括担当) 選任理由

#### 1. 法人のミッション

産学官の密接な連携を促し、情報セキュリティ対策や、電力・鉄道等社会インフラに関するソフトウェアの安全性・信頼性向上対策等を行う。

#### 2. 公募ポスト

総括担当理事は、人事・予算の策定、業務計画の立案・独法見直し対応、産業界・教育機関関係者等との調整を踏まえた業務見直しや、高度なIT人材の育成事業の責任者であり、約200名の職員を率いる。このため、総合調整能力や強いリーダーシップ、IT人材育成に関する専門的知識・知見が求められる。

#### 3. 選考プロセス

外部有識者による選考委員会は、トータル7日間にわたり、39名の応募者の書類審査を行った上で、書類審査を通過した7名に対する約2時間半の面接選考を行い、適任者3名を選考した。

任命権者である理事長は、別途これら7名に対し、個別に面談を行うとともに、選考委員長から選考の経過及び結果について詳しく聴取の上、選考委員会が適任と判断した3名のうち、唯一十分にその任務を果たす能力があると認められるのは田中久也氏であると判断した。その後、理事長は、経済産業大臣に直接説明を行い、田中久也氏を選任した。

#### 4. 任命理由

現在、大手IT企業から同機構に出向中である田中氏は、同企業において、様々な部門でリーダーとしての役割を果たし、かつ、職員数1000名以上の職員を率い、業務プロセスの改革による損益改善、顧客満足度向上等に貢献した実績を有する。また、30年に亘りシステム開発や新規事業の企画・管理、人材育成プロジェクト等に携わってきた多様な経験と実績を有し、他の候補者と比較し、ITに関するより広範かつ深い実務経験を有する。また、情報処理技術者試験のうち、難易度の高い試験をいくつも合格しており、強い向上心も認められる。

さらに、面接においては、IPAの業務について、長年の民間企業での経験を活かし、業務改善や事業管理について明確なビジョンを述べるなど、今後適切なリーダーシップの発揮が十分に期待でき、様々な局面に柔軟に対処していく能力があるものと評価されるなど、総括担当理事の職責を果たす能力において、候補者の中で特に優れていると認められる。

# 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構役員名簿新旧対照表

役職	現(前)任者						就任者			任命権者	発令日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
理事長	河野 博文	64	H20.4.1	4	H24.2.28	通商産業省資源エネルギー庁長官 JFEスチール株式会社専務執行役員					
副理事長	藤田 文萌	63	H20.4.1	4	H24.2.28	新日本石油精製株式会社常務取締役 根岸製油所長					
理事	広田 博士	58	H18.7.31	2	H22.2.28	経済産業省大臣官房技術総括審議官			再任	理事長	H22.4.1
理事	和佐田 演慎	56	H21.6.29	2	H24.2.29	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構石油開発支援本部特命審議役					
理事	鈴木 孔	59	H21.6.29	2	H24.2.29	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構石油開発技術本部特命審議役					
理事	森脇 久光	59	H20.3.1	2	H24.2.29	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構金属資源開発支援本部特命参与					
理事	本城 薫	56	H20.3.1	2	H22.2.28	経済産業省大臣官房付 (独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構資源備蓄本部特命参与	新井 仁	62	東京ガスエンジニアリング(株)取締役 専務執行役員営業本部長兼エンジニアリング本部長	理事長	H22.4.1
理事	鹿戸 丈夫	57	H21.2.1	2	H22.2.28	財務省大臣官房付 米州開発銀行アジア事務所長(派遣)	上田 衛門	51	財務省関東財務局金融安定監理官 【役員出向】	理事長	H22.4.17
監事	松崎 純男	61	H19.4.1	2	H24.2.29	苫小牧ケミカル株式会社代表取締役社長					
監事	廿日岩 信次	56	H21.8.1	2	H22.2.28	国税庁関東信越国税不服審判所長	谷本 忠和	54	ニッセイアセットマネジメント(株)取締役 役 チーフ・インベストメント・オフィサー	経済産業大臣	H22.4.1

公募

公募

公募

公募

(独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC)  
理事 (総務、経理、評価、監査担当) 選任理由

1. 法人のミッション

我が国の資源エネルギーの安定供給等を目的に、リスクマネー供給等の石油・天然ガス及び金属鉱物の探鉱・開発促進に必要な業務、石油及び金属鉱物の備蓄に必要な業務、その他支援事業を実施している。

2. 公募ポスト

多岐に亘る業務を実施する機構全体の総務、人事や予算の責任者として各事業本部間の総合調整を行うとともに、中期目標や中期計画及び各年度計画の達成のための業務を公平性・中立性を担保して的確に遂行する。このため、石油及び鉱物資源の双方の知識・経験、組織運営、人事管理・予算管理の責任者として相応の規模を管理した経験、民間企業等においてリーダーシップを発揮した経験等が求められる。

3. 選考プロセス

外部有識者による選考委員会は、トータル7日間にわたり、8名の応募者の書類審査を行った上で、書類審査を通過した5人に対する約4時間の面接選考を行い、唯一5名の委員全員が適任と判断した者1名を適任者として選考した。任命権者である理事長は、選考委員長から直接選考の経緯及び結果について詳しく聴取するとともに、適任者1名について面談を行った。その後、理事長は、経済産業大臣に選考委員長とともに直接説明を行い、選考委員会が適任と判断した広田博士氏を選任した。

4. 任命理由

広田氏は、経済産業省在職中は、石炭・鉱物ユニット長、石油部精製課長等のポストを経験し、旧金属鉱業事業団への出向経験もあるなど、専門的知識については他の候補者の追随を許さない。国際経験や交渉経験についても、在外日本大使館に勤務し、相手政府との折衝の最前線に立った経験や、貿易保険の債権回収交渉の経験など多数の経験を積んでいる。以上から、JOGMEC 理事時代の経験を除いても、専門的知識、国際交渉経験の点で他の候補者と隔絶している。組織マネジメントについても職員数約400名以上を有する関東経済産業局長を経験しているなど十分である。面接では、人材流失が続く中での人材確保対策に関する質問に対して、若手職員が達成感を味わうことを通じてモチベーション向上が図れるようリーダーシップを発揮していきたいとの強い意気込みが示された。

このように実績と意欲を兼ね備え、総務、経理、評価、監査担当理事の機能を担える候補者は、他の候補者についてその潜在力を評価したとしても、同氏以外に見あたらない。

(独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC)  
理事 (資源備蓄関連担当) 選任理由

1. 法人のミッション

我が国の資源エネルギーの安定供給等を目的に、リスクマネー供給等の石油・天然ガス及び金属鉱物の探鉱・開発促進に必要な業務、石油及び金属鉱物の備蓄に必要な業務、その他支援事業を実施している。

2. 公募ポスト

我が国のエネルギー安全保障にとって不可欠な石油、石油ガス及びレアメタルの国家備蓄の責任者であり、全国13ヶ所の石油・石油ガスの国家備蓄基地を安全かつ効率的に統合管理する責務を負う。このため、産業保安確保、大規模地下土木工事の事業管理、環境安全の技術的事項等についての十分な経験・能力や民間企業等においてリーダーシップを発揮した経験等が求められる。

3. 選考プロセス

外部有識者による選考委員会は、トータル7日間にわたり、8名の応募者の書類審査を行った上で、書類審査を通過した3名に対する約3時間の面接選考を行い、唯一5名の委員全員が適任と判断した者1名を適任者として選考した。任命権者である理事長は、選考委員長から直接、選考の経過及び結果について詳しく聴取するとともに、適任者1名について面談を行った。その後、理事長は、経済産業大臣に選考委員長とともに直接説明を行い、選考委員会が適任と判断した新井仁氏を選任した。

4. 任命理由

新井氏は、ガス会社の主力工場の工場長として、基地の設計、建設、維持管理、効率化を手がけてきた経験を有し、保安面で社内の社長賞及び労働大臣賞を受賞する等、顕著な実績を有する。また、レアメタルに関しては、金属素材に関する基礎知識を有している。面接における質疑への受け答えにも誠実さが感じられ、明るい人柄、部下を動機付けしてミッションを遂行できるリーダーシップを持つと判断できる。



(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)  
理事(金属開発資金支援・鉱害防止支援担当)選任理由

1. 法人のミッション

我が国の資源エネルギーの安定供給等を目的に、リスクマネー供給等の石油・天然ガス及び金属鉱物の探鉱・開発促進に必要な業務、石油及び金属鉱物の備蓄に必要な業務、その他支援事業を実施している。

2. 公募ポスト

海外探鉱開発資金に係る出資、融資及び債務保証や鉱害防止義務者等に対する金融支援等の責任者であり、特に、海外探鉱開発資金の出融資等の業務については、優良な大型海外開発案件へのリスクマネーの供給拡大や有望案件の発掘・形成に向けた資源国との交渉協力を一層推進する。このため、こうした機能を十分発揮しうるだけの金融知識、融資渉外経験、海外探鉱が存する開発途上国のポリティカルリスク等に関する十分な知識・経験や民間企業等においてリーダーシップを発揮した経験等が求められる。

3. 選考プロセス

本件公募に対しては、4人の応募があり、理事長と経済産業大臣が協議し、今後、法人の金融支援機能が一層強化されることを踏まえ、必要とされる専門性などでより適材適所の人事を行う観点から、適任と判断される者はいなかった。これを受けて、理事長が経済産業大臣に対し、適任者の推薦を依頼し、経済産業大臣が推薦した財務省の現役職員について、理事長が選考委員会に諮ったところ、適任であるとの評価が得られ承認された。これに基づき、理事長が上田衛門氏を選任した。

4. 任命理由

同氏は、財務省国際金融局、国際機関(OECD)、金融庁、財政金融研究所等における勤務を通じ、国際金融の経験及び専門的知識・能力を有する。また、在インド大使館(円借款担当)、内閣参事官(海外経済協力会議担当)の経験を通じ、途上国のポリティカルリスク分析についての知見も十分備えている。さらに、国際租税課企画官として租税条約交渉等に参画する一方、OECD域外国金融センター改革支援課長として途上国等の金融セクター改革に係る国際会議を多数主催・出席したほか、在インド大使館等での勤務を有しており、外国政府等との交渉・調整経験も豊富である。内閣参事官時代には、政府開発援助の戦略構築をリードした経験を有し、途上国の経済金融情勢にも精通し、資源外交の重要性などについて深い識見を有する。

中立性については、現役の関東財務局金融安定監理官であり、リスクマネー供給の責任者として全く問題ない。

リーダーシップについては、大阪国税局、総務省、内閣官房、国際機関(OECD)といった多様な組織における管理経験を有する。また、現在、関東財務局金融安定監理官として東日本の地域金融機関に対する検査・監督体制(職員300名程度)の総指揮を取っており、十分な経験と実績が認められる。

## (独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC)

### 監事選任理由

#### 1. 法人のミッション

我が国の資源エネルギーの安定供給等を目的に、リスクマネー供給等の石油・天然ガス及び金属鉱物の探鉱・開発促進に必要な業務、石油及び金属鉱物の備蓄に必要な業務、その他支援事業を実施している。

#### 2. 公募ポスト

監事は、機構業務が法令に遵守したものになっているか、経理や契約が適正なものであるか、適切なリスクマネジメントの下でリスクマネー供給が実行されているか等の業務内容の適正性について監査を行う。このため、当法人が行う業務について、的確に監査業務を遂行できる十分な能力・経験、財務状況や決算状況の監査業務に従事した経験、大臣に代わって役員の法人運営を監視する必要があることから民間企業等においてリーダーシップを発揮した経験等が求められる。

#### 3. 選考プロセス

外部有識者による選考委員会は、トータル10日間にわたり、20名の応募者の書類審査を行った上で、書類審査を通過した4名に対する約3時間の面接選考を行い、唯一4名の委員全員が適任と判断した者1名を適任者として選考した。

任命権者である経済産業大臣は、選考委員長から直接、選考の経過及び結果について詳しく聴取の上、選考委員会が唯一適任者として選考した谷本忠和氏を選任した。

#### 4. 任命理由

谷本氏は、生命保険会社において、証券管理部と資金証券部でラインの部長の経験や投資信託会社の取締役の経験を有しており、運用全般を総括するなど規模の大きい資産運用とそのリスクマネジメントに関する高い専門性と経験は他の候補者を凌いでいる。リーダーシップについても申し分なく、ラインの部長としての経験から職員とのコミュニケーションを通じて改革を進めていくノウハウと熱意を持ちあわせている。外部監査役としての経験、投資運用を通じた企業財務に関する基礎的知識、さらには高い向上心も有しており、今後の業務の中で能力の発揮が十分期待できる。

## 選考委員会の属性について

### 【経済産業省】

- ・独立行政法人情報処理推進機構理事（総括担当）

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

会社役員	2名
大学教授	2名
ジャーナリスト	1名

---

計	5名
---	----

- ・独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構理事（総務、経理、評価、監査担当）
- ・独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構理事（資源備蓄関連担当）
- ・独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構理事（金属開発資金支援・鉱害防止支援担当）

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

会社役員	2名
大学教授	2名
その他	1名

---

計	5名
---	----

- ・独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構監事

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

公認会計士	1名
弁護士	1名
大学教授	1名
会社役員	1名

---

計	4名
---	----